

一般財団法人伊勢神宮崇敬会
平成 29 年度事業報告
(自平成 29 年 4 月 1 日 至平成 30 年 3 月 31 日)

本年度は、一般財団法人移行認可時に策定した公益目的支出計画及び事務手続きが予定通りすべて完了となった。

神宮への参拝者数が過去 4 番目となる約 880 万人が記録される中、本会においては会員事業をはじめ各事業の一層の充実と工夫を図り神宮崇敬の裾野の拡充に努めた。

宿泊及び研修施設の神宮会館では、早朝参拝案内及び参宮促進企画を行い神宮にお参りされる方にご利用頂き順調に稼働した。

1. 文化及び芸術の振興

① 第 62 回神宮奉納大相撲

日本相撲協会協賛のもと、国技である大相撲の取組を通じて守り伝えられた「心・技・体」の神髄を披露した。内宮神苑にて横綱 日馬富士・横綱 鶴竜の土俵入りと三役力士による揃い踏み奉納し、神宮相撲場では例年同様にトーナメント戦等を行った。(4月2日) 手数入り 約 7,500 名、神宮相撲場 約 2,500 名<幕内トーナメント優勝者 貴ノ岩 義司(たかのいわ よしもり)・準優勝者 鶴竜 力三郎(かくりゅう りきさぶろう)>

② 神宮植樹祭の参列

森林のもつ機能の大切さを学び、自然に対する畏敬の念を体感するため神宮宮域林で行われる桜の苗木を植樹するお祭りに、特に許されて参列した。

(4月21日) 18名<28年度14名>

③ 神宮祭典の奉拝及び伊雑宮御田植奉仕

2000年に亘り続けられている恒例祭を奉拝して崇敬の心を体感し守り継がれてきた歴史・文化・伝統に触れた。

六月(6月16日)27名<28年度27名>・十二月(12月16日)27名<28年度26名>の月次祭(内宮)と神嘗祭(外宮)(10月15日)120名<28年度143名>の神宮三節祭における由貴夕大御饌の儀を始め、平安・豊穰を祈念する恒例祭を奉拝した。また、伊雑宮の御料田にて御田植奉仕(6月26・27日)24名<28年度13名>を行った。

諸事業を通して神宮徴古館・せんぐう館の拝観を行い、神宮のおまつりをはじめ神宮式年遷宮について深く学んだ。

④ お伊勢さん 125 社まわり

本年度で 17 期目。神宮の全てのお社を年 3 回に分けて巡拝し、神祀りの心を学んだ。また、昨年に続き滞在日程により参加が難しかった方にも参加いただけるように 1 泊 2 日で 5 回に分けて巡拝できる日程を追加した。

※3 回巡拝日程

(5月11~13日、10月29~31日、2月4・5日) 87名<平成28年度95名>

※5 回巡拝日程

(4月23・24日、5月21・22日、9月10・11日、10月1・2日、2月25・26日)105名
<平成28年度96名>

⑤ 神宮ばら園の運営

昭和 62 年 10 月に開園以来、市民を始め伊勢を訪れる方々にやすらう場所を提供し、皇室敬慕の思いを育むため皇族のお名前を冠したプリンセス・ローズの育成を行い公開した。また神宮ばら園に因んだ特製マドレーヌ及びピンバッジを作製頒布し広報に努めた。

⑥ 第 40 回神恩感謝祭

年に一度会員が伊勢に集い、神宮の広大なるご神恩に感謝の真心を捧げ、会員各位の隆昌を祈念するお神楽を奉納した。本年度は、土宮由貴夕大御饌の儀を奉拝した。併せて諸事業及び会員活動など本会の現状報告と皇室ジャーナリスト 久能 靖氏による『陛下のご退位を前にして』をテーマに講演会を実施した。

(6月18・19日) 202名<平成28年度204名>

⑦ 神宮奉納文化事業

神宮相撲場をコンサート会場として初めて利用となる『ゆず奉納コンサート』を開催した。日本古来から受け継がれる文化及び芸能・芸術の振興を図り、神宮崇敬の裾野の拡充はもとより心の豊かさの涵養に努めた。(9月8日) 約1,500名

⑧ 第 46 回初穂曳への参加

初穂米を募り伝統文化行事である「お木曳」そのままに執り行われる初穂曳に参加し、外宮神嘗祭・由貴夕大御饌の儀を奉拝した。食の文化を大切にしてきた日本の心を取り結び、培われてきた豊穰に感謝する気持ちを体験した。〔神社本庁協力〕

(10月15日) 314名<平成28年度322名>

⑨ 第 63 回伊勢神宮新穀感謝祭

全国から毎年多数の参列者を迎えて新穀収穫への感謝の奉告祭を執り行った。併せて農業をはじめとした産業の振興に貢献された功労者の顕彰を行い、我が国の農事全般の発展を祈念した。(11月8日～12月12日) 参列者9,186名<平成28年度9,492名>
農事関係功労者顕彰29名

⑩ 第 56 回伊勢神宮奉納書道展

毎日新聞社と共催で全国各地から書作品を公募し内宮饗膳所に於いて展示した。1,400年以上に亘って育まれてきた書道の伝統文化を振興し、書にみる芸術性を喚起した。

(11月18日～27日)

出展13,681点 展示550点<平成28年度 出展13,181点 展示559点>

⑪ 平成 29 年の御礼まいり

大御神様のご神恩に感謝の真心を捧げ、皇室の弥栄、国家繁栄及び各位の安寧隆昌を祈念するお神楽を奉納した。併せて瀧原宮由貴夕大御饌の儀及び天長祭を奉拝した。

(12月22・23日) 110名<平成28年度40名>

⑫ お神楽奉納と神宮茶室での呈茶

本年度で14期目。伝統ある風習を体験し報恩感謝の祈り(神楽・御饌)を個々に捧げると共に、神宮茶室に於いて茶道により伝えられてきた簡素な美と心に触れた。

(6月、9月、11月、2月、3月 定員各20名 年5回) 89名<28年度82名>

⑬ 如雪園復興事業

雪が降る如く花々が咲き乱れていたという「如雪園」の復興事業を実施した。第一期として本年度は相撲場周辺に桜の苗木等を植樹した。

2. 児童及び青少年の健全育成

① 伊勢の伝統文化体験

全国の小学生とその父兄を対象に伊勢を中心として育まれてきた精神文化を学習し、健全な心の育成を目的に開催した。雅楽教室、火起こしなど体験型教室を行った。

(8月5・6日) 21名<平成28年度48名>

② 第 55 回伊勢神宮奉納全日本学生弓道大会

全日本学生弓道連盟・神宮司庁・三重県弓道連盟との共催のもと、第65回全日本学生弓

道王座決定戦・第 63 回東西学生弓道選抜対抗試合・第 41 回全日本学生弓道女子王座決定戦・第 41 回女子東西学生弓道選抜対抗試合を開催した。(11 月 17～21 日)

③ 第 14 回神宮奉納お伊勢まいり作文コンクール

全国より伊勢の文化に触れる作文を募集し、国語の表現力を高め優秀作品を表彰した。
(表彰式 3 月 17 日) 応募数 236 作、受賞者 9 名

3. 会員組織の拡充と展開

崇敬会会員の現状

正会員 6,470 名 会員 6,997 名 準会員 4,052 名 合計 17,519 名 維持会員 279 件 (320 口)

※正会員 6,377 名 会員 6,938 名 準会員 3,948 名 合計 17,263 名 維持会員 256 件 (287 口)
(H29. 3. 31)

① 入会促進

日本人の大きな精神的支柱である伊勢の神宮を、多方面から紹介し、受け継がれてきた神を敬い日本を愛する心の涵養に努めた。遷宮を次の世代へと紡ぐ懸け橋として祭典案内等の施策を講じ会員の拡充をはかった。

今期目標 個人会員 18,000 名 (正会員 6,500 名 会員 7,000 名 準会員 4,500 名)
維持会員 270 件 (300 口)

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
東京都	842	1,113	837	2,792
神奈川県	419	349	150	918
埼玉県	218	226	91	535
群馬県	87	75	49	211
千葉県	324	189	67	580
茨城県	81	54	35	170
栃木県	62	38	46	146
山梨県	58	108	52	218
北海道	218	147	118	483
宮城県	76	69	22	167
福島県	74	146	17	237
岩手県	22	33	50	105
青森県	68	31	11	110
山形県	36	25	7	68
秋田県	25	42	4	71
三重県	358	310	58	726
愛知県	553	485	338	1,376
静岡県	246	200	629	1,075
岐阜県	136	159	62	357
長野県	130	436	73	639
新潟県	79	73	94	246
福井県	42	39	14	95
石川県	106	66	34	206
富山県	122	147	44	313

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
京都府	155	133	35	323
大阪府	400	462	110	972
兵庫県	202	232	79	513
奈良県	64	86	13	163
滋賀県	70	60	8	138
和歌山県	39	48	25	112
鳥取県	36	28	14	78
島根県	44	43	56	143
岡山県	95	113	61	269
広島県	100	54	34	188
山口県	90	72	25	187
徳島県	49	85	5	139
香川県	69	40	16	125
愛媛県	38	29	32	99
高知県	94	75	16	185
長崎県	25	307	5	337
福岡県	294	313	277	884
大分県	47	51	9	107
佐賀県	55	65	269	389
熊本県	57	79	17	153
宮崎県	14	11	8	33
鹿児島県	32	27	10	69
沖縄県	18	22	26	66
海外	1	2	0	3
合計	6,470	6,997	4,052	17,519

② 第 22 回会員研修会

神宮神田での稲刈り奉仕作業及び内宮古殿地清掃奉仕をはじめ、神宮に関する知識を講話等で学んだ。(9 月 27・28 日) 82 名<平成 28 年度 79 名>

③ 会員研修会（特別編）

神道の知識を養い神宮への崇敬心を涵養する会員研修会の特別編を企画したが、台風接近に伴い取り止めとした。（10月22・23日）

④ 伊勢参宮と史跡めぐり

神都として歩んできた伊勢の史跡や文化財を訪ね、郷土史研究家から解説を受け神宮との繋がりを学んだ。（11月1・2日）12名

4. 宿泊、研修施設等の運営

① 神宮会館の運営

宿泊研修施設の神宮会館を運営し、お伊勢まいりの宿として細やかに応接し、本会職員が早朝参拝案内をするなど参宮促進と御神徳宣揚に努めた。

宿泊利用者 39,958名（1日平均109.5名・部屋稼働率70.53%）

※平成28年度40,548名（1日平均111.1名・部屋稼働率70.75%）

月度	大人	学生小人	宿泊合計
4	2,997	185	3,182
5	3,179	532	3,711
6	2,314	502	2,816
7	1,525	2,177	3,702
8	2,782	1,414	4,196
9	2,401	299	2,700

月度	大人	学生小人	宿泊合計
10	3,345	197	3,542
11	2,576	1,143	3,719
12	2,482	777	3,259
1	3,059	116	3,175
2	2,088	577	2,665
3	2,690	601	3,291
合計	31,438	8,520	39,958

② 宿泊企画の実施

宿泊に付属した伊勢の風習や諸宮社の参拝などを行い、利用者の増加に努め利便性を図った。

(ア) 第17回八朔まいりとお水汲み

伊勢では八朔の日（8月1日）に、五十鈴川の水をご家庭の神棚に供え、一年の家内安全・無病息災を祈願する風習があり、体験することにより敬神崇祖の念を涵養した。

（7月31日・8月1日）48名＜平成28年度46名＞

(イ) 外宮特別参拝と神宮御料地巡り

外宮特別参拝と神宮御料地を巡り神宮のお祭りや歴史に理解を深めた。

（8月1・2日）17名

(ウ) 両宮特別参拝と日別朝夕大御饌祭奉拝

豊受大御神様の御鎮座以来つづけられている日別朝夕大御饌祭の奉拝と両宮特別参拝を行った。お祭りの意義を啓蒙し五穀豊穡を祈り食の恵みに感謝した。

（9月20・21日）14名

(エ) 第18回冬至まいりと注連縄作り体験

冬至の日に、宇治橋大鳥居の正面に昇る朝日を拝み、過ぎた一年に感謝する風習を体験し、自然に対する畏敬の念を喚起した。また、伊勢では一年中玄関に注連縄を飾り無病息災を祈る風習があり、その注連縄作りを体験し平安への思いを涵養した。

（12月21・22日）62名＜平成28年度62名＞

(オ) 第27回お伊勢さん正宮・別宮まいり

内宮、外宮の正宮と14の別宮を参拝しご朱印を集印した。途中神宮ゆかりの施設も訪れた。（2月16・17日）32名＜平成28年度30名＞

5. 会報、図書その他印刷物の編纂と刊行

① 会報誌「みもすそ」

神宮に関する記事、伊勢志摩の歴史・文芸・習俗の話題、本会行事などの情報発信源の主力媒体として編集し、各会員あてに配布した。創刊から4月で82号発行となる。4月(82号)は斎王の宮、7月(83号)は豊受大御神のふるさと、10月(84号)は神宮神田、1月(85号)は神宮奉納大相撲を特集した。(年4回発行)

② 叢書

御神徳の宣揚、神社神道の昂揚を図るため神道有識者に依頼し刊行した。

叢書22『近世の神都と学問・思想』

皇學館大学文学部神道学科教授 松本 ^{たかし} 丘 氏

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

① 昼食の利用促進

神社関係者を中心に働きかけ、お神楽奉奏の団体には直会饗膳も提案した。

利用者41,998名(平均115.1名/日)、平成28年度41,968名(平均115.0名/日)

② 物品、記念品の販売

会館利用者並びに崇敬会会員の利便性を図るため売店を設け記念品・特産品の販売並びに木製品・参宮記念品の謹製・頒布を行った。また通信販売を行いカタログの調整・ホームページでの紹介を通じて販路の拡大に努めた。

特に神宮桧材を用いた壁掛神棚の謹製・頒布を行い神札をおまつりいただけるよう努めた。

③ 研修施設及び神宮相撲場の利用促進

講堂(大ホール・会議室)及び神宮相撲場の利用促進を図った。

④ 神宮参拝者駐車場の運営

内宮前の渋滞緩和の一助として、神宮会館横に隣接する立体駐車場を運営した。

年度	乗用車	バス	合計	有料乗用車	有料バス	有料合計
29年度	169,858台	943台	170,801台	146,457台	19台	146,476台
28年度	165,685台	970台	166,655台	142,379台	24台	142,403台

⑤ コインロッカーの運営

宇治橋前に設置されているコインロッカーを管理し、内宮参拝者の便宜を図った。

⑥ 太陽光発電事業の運営

太陽光発電設備を導入し我が国のエネルギー政策であるCO₂排出削減や再生可能エネルギー導入拡大への協力を行った。地球環境保護への貢献を図るとともに神宮会館経営の一助とした。

⑦ 神社関係者大会等に出向

各地で開催の神社関係者大会等に出向き、本会の広報を行った。

⑧ スポーツ及び文化活動への助成

行政を含めた協賛・後援依頼団体の行事及び事業の助成をした。

⑨ 参宮案内所における案内

神宮の参宮案内所(宇治橋前)に職員を派遣し、神宮に関する案内を行った。

役職員数

理事 13名、監事 3名、評議員 15名、職員 藤本事務局長 外48名

会議

- | | | | | |
|--------------|-------|-----------|-------------------------------|---|
| 1. 運営委員会 | 5月20日 | (神宮司庁会議室) | 平成28年度事業報告・決算 | 他 |
| 2. 監事会 | 5月29日 | (神宮会館会議室) | 業務及び会計監査 | |
| 3. 第5回定時評議員会 | 5月30日 | (神宮会館会議室) | 任期満了に伴う役員の選任
平成28年度事業報告・決算 | 他 |
| 4. 第9回理事会 | 5月30日 | (神宮会館会議室) | 平成28年度事業報告・決算 | 他 |
| 5. 第10回理事会 | 5月30日 | (神宮会館会議室) | 会長・副会長・理事長選定 | 他 |
| 6. 代議員会 | 6月9日 | (神宮会館大講堂) | 平成28年度事業報告・決算 | 他 |
| 7. 運営委員会 | 8月9日 | (神宮司庁会議室) | 平成29年度事業報告(中間) | 他 |
| 8. 事務局長会 | 9月17日 | (神宮会館会議室) | 平成29年度事業報告(中間) | 他 |
| 9. 運営委員会 | 3月17日 | (神宮司庁会議室) | 平成30年度事業計画・予算 | 他 |
| 10. 臨時評議員会 | 3月19日 | (神宮会館会議室) | 平成30年度事業計画・予算 | 他 |
| 11. 第11回理事会 | 3月19日 | (神宮会館会議室) | 平成30年度事業計画・予算 | 他 |

施設の改善

神宮司庁に依頼して施工された施設改修

神宮会館エレベーター改修工事、神宮会館車寄せ屋根修繕工事、文化事業舞台建撤工事、神宮会館各所樹木維持管理費、等〈総額約6,210万円〉

本会にて実施した施設改修

西館客室空調機改修工事、弓道場通路上屋他修理、客室畳改修工事、大浴場水栓工事、LED化工事(本館第1・第2会議室)、等〈総額約1,360万円〉

以上